

過去と現在の性差別とその背景

宮城県仙台第三高等学校 B-7

1. 背景と目的

背景 ①政治家による差別的な発言
②職場でのセクハラ
③男女のファッションの固定概念



目的 上の世代と下の世代間の性に関する認識の差があることを理解する

2. 材料と方法

○アンケート

年齢や男女の意識の違いを調べるために、10代か70代までの約400人に対して独自のアンケートを行った

○文献調査

性差別や男女の固定概念に関する諸文献、ウェブサイトを用いて調査した

4. 今後

・過去の時代背景を調べる
・男女間での意識の違いがどこからきているのか

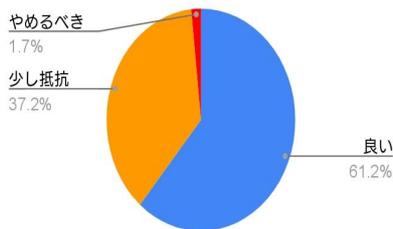
まとめ・結論

以上の結果から年齢によって意識の差が生じていることがわかった。また、上記のアンケート外であるが、年齢だけではなく性別でも意識の差が生じていた。私たちは自分の意見だけではなく、それぞれの立場や認識の違いがあることを理解しなくてはならない。

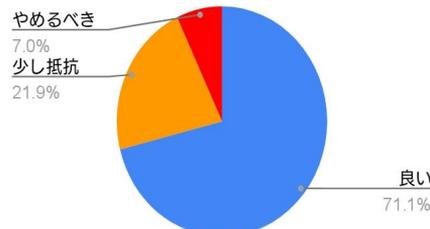
3. 結果・考察

①男性の長髪についての世代別印象の違い

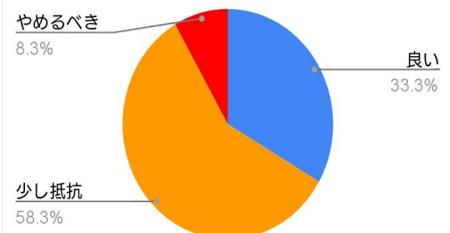
10代



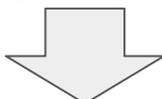
20代~50代



60代~



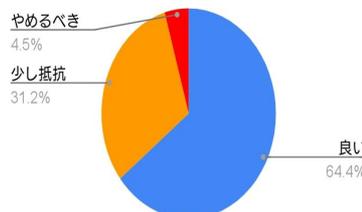
20代~50代は社会に出ることで多様な人たちと関わり合いを持つ。一方10代の学生や60代以降は関わりを持つ人が限られている。



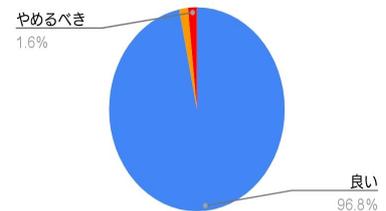
普段関わりのない人に対して抵抗感を感じてしまう傾向があるのではないかと。また、このことは②のアンケートでも同じことが言えるだろう。

②男性の長髪と女性の短髪の反応の違い

長髪の男性はどう思うか



女性の短髪はどう思うか



参考文献

坂口孝則 日本が忘れていない「女性蔑視」本当の歴史
古田大輔 政治家の女性差別発言を20年分調べた